

300系引退 1992～300系の軌跡～2012

3月16日、300系車両は20年間の運行を終えて引退をします。16日には300系のラストランやさよならイベントなどが予定されています。

300系運行開始時は、トラブル続き

今から20年前の1992年3月14日、300系は「のぞみ号」として営業運転を開始しました。しかし、当初は300系の車両トラブルや最高速度を一気に50km/hも上げたことが原因の乗客負傷事故などが発生しました。

J R東海労は、300系運行開始の半年前の1991年8月に結成しました。私たちは結成直後から、300系運行は安全上問題があるとして運行中止や抜本的対策を求めました。

300系が運行を開始したのが1992年（平成4年）で、1992年から1994年にかけて事故が多く発生しています。したがって、平成採用の皆さんのほとんどは、300系の安全問題は知らないと思います。以下、300系による主な事故を掲載します。

●1992年5月6日名古屋～三河安城間でモーター脱落、4時間立ち往生 ●1993年4月4日岐阜羽島駅、4月30日豊橋駅のホームにいた乗客が「のぞみ号」通過時に跳ね上げられたバラストで負傷 ●1993年12月16日姫路～西明石間でモーター破損 ●1993年12月9日名古屋駅手前で遮断器故障により走行不能 ●1995年12月から台車検査周期延伸によりディスクボルト折損が発生（10年間で130本以上のボルトが折損）

上記以外にも車両故障（主変換装置故障、空調故障など）が発生しています。ウィキペディアでは、営業開始から4月25日までの1ヶ月半の間に183件ものトラブルが発生し、トンネルでの蛇行動については左右動の問題は残されていると掲載されています。

300系の軌跡は、安全確立に向けた闘いの軌跡

私たちは300系運行に対する安全確立に向けて闘いました。バラスト跳ね上げによる乗客負傷事故に対しては、組合員が運転する「のぞみ号」を270km/hで通過する駅を230km/hに減速して通過することを会社に通告しました（会社は組合員を「のぞみ号」に乗務させませんでした。バラストを乳剤で固めたりバラストを5cm掘り下げました）。

私たちの300系運行に対する安全確立に向けた闘いにより、会社は抜本的対策とはなりませんでしたが、バラスト跳ね上げ防止のように対策をとりました。

そして300系は、20年間にわたる安全の軌跡を辿り、「ありがとう300系」としてラストランを迎えることができます。